



与路小・中学校 学校だより

瀬戸内町立与路小・中学校 学校だより「与路っ子」令和6年度5月号

与路っ子 5

「生きる力」から「生きぬく力」へ

校長 川井 功作

アメリカインディアンの教えに「空腹の人に魚を与えれば一日で食べてしまうが、魚を取る方法を教えれば一生食べていける」という内容の事柄があります。現代社会において「魚の取り方を教える」ことは極めて大事なことです。そして、さらには「自分で取ろう」という強い意志が今まで以上に必要とされているような気がします。

学校では、勉強し知識を習得すると同時に、自分の将来について考え、それに向かって努力することが大切です。では、社会で求められている人材とは、どんな人材なのでしょう。価値観が多様化し、自分だけの意見を主張するだけでは周りとうまくやっていけません。意見の違う相手であってもうまくコミュニケーションとれる人材こそ今求められているのです。そして、自分の人生を豊かに生きていくためには、身近な人の役にたち、周りの人から信頼される力が必要となります。そのためには、日々の活動を通して、ルールを守ること、挨拶をすること、身だしなみを整えること、こうした小さな事柄を大事にして、他人と共存していくための社会性を身に付けることが大切です。

本校は、県外から5名の児童・生徒が親元を離れ共同生活をして元気に登校しています。この留学制度を通して子どもたちに「こんなふうに生きていきたい」という志をもたせること。目の前に起こる様々な問題に対して、自分自身で解決できるという自信とたくましさ、つまり生きぬく力を身に付けさせることに力を結集していかなければならないと考えています。そのためには、学校・家庭・里親・地域がしっかりと手を結び、未来を担う子どもたちに明日への希望を育てていきたいと思ひます。

瀬戸内町の教訓集(シマのユスイグトウシュウ)から
家(やあ)慣(な)れど 外(すと)慣(な)れ
家庭で日常生活のしつけや生活習慣が身につけている人は、社会に出てもそのまま行いとなって表れます。
子どもにとって家庭は、人間としてのしつけを受ける場です。子どもは見ています。まねます。親のまね。

春の一日遠足

5月1日(水)、春の一日遠足を実施しました。遠足は年2回、池地小中学校と合同で行います。

今回は、加計呂麻島の実久地区を訪ねました。真珠養殖場見学、実久海岸、いっちゃん市場等を巡ったり、西阿室小との交流をしたりと、充実した一日となりました。



交通安全・防犯教室

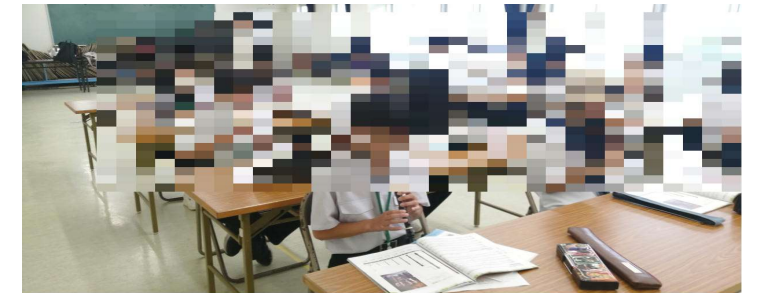
5月17日(金)、池間駐在所の有村巡査と瀬戸内警察署から2名の警察官が来校してくれました。不審者に扮した警察官が小学教室に侵入し、子供たちは避難、先生方は対応の仕方を学びました。交通安全教室は有村巡査が動画とともにわかりやすく講義してくれました。そのあと、乗用車の死角を身をもって体験することもできました。そのあと、全員で港まで行き、警察署の船と記念撮影をしました。



中学校集合学習会

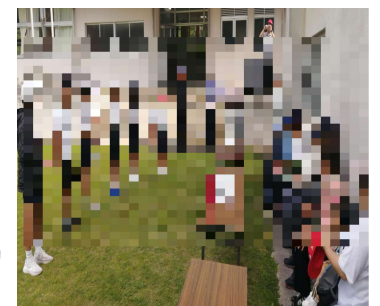
5月15日(水)、三島中学校集合学習会(伊子茂・諸鈍・池地・与路)がせとうち物産館で開催されました。

午前中は、5月23日に行われる見学学習の事前打ち合わせや音楽の合同授業、午後は高校説明会。高校説明会では、古仁屋、奄美、大島、樟南第二、鹿児島城西、鹿児島情報、神村学園の7校から先生方に来ていただき、各校の紹介をしていただきました。直接話を聞く機会は少ないため、非常に得がたい時間となったようです。



ふれあい活動

5月11日(土)、ふれあい活動が行われました。今回も八月踊りの練習とグラウンドゴルフを開催しました。地域の方にも多数ご参加いただき、子供たちもおおいに楽しんでいました。御協力ありがとうございました。



おもな6月の行事

- 5 (水) 租税教室
- 11 (火) 耳鼻科検診
- 25 (火) 池地・与路交流学習(池地)
- 27 (木) 中学校期末テスト
- 29 (土) 海岸清掃・水難事故防止教室・海開き